

受賞資格別受賞者数

(人)

年次	総数	内 訳		
		著書、論文及び統計の技術によって、我が国の統計の進歩に直接貢献した人	多年統計実務に従事して、我が国の統計の進歩に貢献した人	多年統計の普及に努め、我が国の統計の進歩に貢献した人
昭和 28(1953)年	5	1	4	
” 29(1954)年	5	2	3	
” 30(1955)年	5	2	3	
” 31(1956)年	4	2	2	
” 32(1957)年	5	1	4	
” 33(1958)年	5	2	3	
” 34(1959)年	5	1	4	
” 35(1960)年	5	2	3	
” 36(1961)年	5	1	4	
” 37(1962)年	5	1	4	
” 38(1963)年	4		4	
” 39(1964)年	4	1	3	
” 40(1965)年	6	2	4	
” 41(1966)年	6		6	
” 42(1967)年	6		6	
” 43(1968)年	5	1	4	
” 44(1969)年	4		4	
” 45(1970)年	5		5	
” 46(1971)年	5	1	4	
” 47(1972)年	5		4	1
” 48(1973)年	6	1	5	
” 49(1974)年	6	2	4	
” 50(1975)年	6		5	1
” 51(1976)年	6	1	4	1
” 52(1977)年	5		4	1
” 53(1978)年	6	1	4	1
” 54(1979)年	5	1	3	1
” 55(1980)年	5		4	1
” 56(1981)年	5		5	
” 57(1982)年	5		4	1
” 58(1983)年	5		4	1
” 59(1984)年	5		4	1
” 60(1985)年	5		5	
” 61(1986)年	5	1	4	
” 62(1987)年	5		5	
” 63(1988)年	5		4	1
平成元(1989)年	5	1	3	1
” 2(1990)年	5	1	4	
” 3(1991)年	5		4	1
” 4(1992)年	5		5	

(人・団体)

年次	総数	内 訳			
		多年統計実務に 関し、著書、論文等 によって、我が国の 統計の進歩に直接 貢献した人	多年統計実務に従 事して、我が国の統 計の進歩に貢献し た人	多年統計の普及に 努め、我が国の統 計の進歩に貢献し た人	前各号のほか、統計 の実務又は普及を通 じ、我が国の統計の 進歩に特に顕著な貢 献をした人
平成 5(1993)年	6	1	5		
” 6(1994)年	6		5		1
” 7(1995)年	6	(1)	5	1(1)	
” 8(1996)年	5	1	4		
” 9(1997)年	5	(1)	5		
		(同上)	(同上)	(同上)	統計の実務又は普及 を通じ、我が国の統 計の進歩に顕著な貢 献をした人又はグル ープ、団体等
平成 10(1998)年	4	1	3	(1)	
” 11(1999)年	3		3		
” 12(2000)年	4		3	(1)	1(団体)
” 13(2001)年	4	(1)	4		
” 14(2002)年	4		4		
” 15(2003)年	6	1	4	1	
” 16(2004)年	5		4	1	
		著書、論文等によつ て、我が国の統計 実務の進歩に直接 貢献した人	(同上)	(同上)	統計の実務又は普及 を通じ、我が国の統 計の進歩に顕著な貢 献をした人又は団体 等
平成 17(2005)年	5	1	4	(2)	
” 18(2006)年	5	1	3	(1)	1(団体)
” 19(2007)年	5	1	4	(1)	
” 20(2008)年	4	1	3		
” 21(2009)年	5		5		
” 22(2010)年	5	1	4		
” 23(2011)年	4	(1)	3		1(団体)
” 24(2012)年	4	1	3		
” 25(2013)年	4		4		
” 26(2014)年	4		4		
” 27(2015)年	3	1	2		
” 28(2016)年	4	1	3		
” 29(2017)年	4		4		
” 30(2018)年	4		4		
令和 元(2019)年	3		3		
” 2(2020)年	4		3	(1)	1(団体)
” 3(2021)年	4		3		1(団体)
” 4(2022)年	7	(1)	5		2(団体)(1)
合 計	333人 7 団体	41 人 (5)	275 人	16 人 (8)	1 人(1) 7 団体

※ 平成 7 年、9 年、10 年、12 年、13 年、17～19 年、23 年、令和 2 年、4 年の括弧内の数字は、受賞理由が複数ある受賞者の数を表す。